

牧之原市監査委員告示第 3 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 14 項の規定により、牧之原市長から監査の結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表する。

令和 2 年 9 月 14 日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂
同 太田 佳晴



牧 総 第 99 号
令和 2 年 9 月 10 日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂 様
牧之原市監査委員 太田 佳晴 様

牧之原市長 杉本 基久雄



財政援助団体等監査に関する報告及び意見について

令和 2 年 7 月 22 日付け牧監第 30 号により通知のあった財政援助団体等監査
に関する報告及び意見について、別紙のとおり措置状況を報告します。

担当 総務部総務課

2332、2334、2335



令和2年度の監査指摘事項に対する措置状況について

社会福祉課

令和2年度の監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>【共通】</p> <p>(1) 運営費補助金の補助対象額は人件費が大きいウエイトを占める。当市の福祉ニーズの動向を踏まえ、計画的な人員の確保及び事業の実施並びに有効な補助金の活用をされたい。</p> <p>また、担当課（市）においても、詳細を把握し内容を綿密に審査することにより、補助金の必要性や有効性に活用されているかを検証されたい。</p> <p>(2) サロン事業は高齢者の居場所づくりの核となる事業であり、サロン協力員へのねぎらいや充実感を感じてもらうことが必要である。生涯安心して住める地域づくりのため、地</p>	<p>【共通】</p> <p>(1) 福祉ニーズへの対応は年々複雑多岐にわたっているため、経験のある専門職の配置が必須となってきている。このため、有資格者を毎年定期的に採用していくとともに、経験者を計画的に各部署へ配置していく。</p> <p>なお、大きなウエイトを占める人件費については、介護事業収入等の自主財源を充当するとともに、引き続き市の補助金や委託料を有効に活用させていただき、市民の福祉増進を図っていく。</p> <p>また、担当課としては、補助金の要求時において、各種事業の必要性及び積算基礎の確認を行うとともに、実績報告での経費の執行状況及び財源充当の状況確認を徹底し、引き続き事業の精査を図っていく。</p> <p>(2) サロン協力員を対象に、サロンサロン、サロンステップアップ研修を開催し、ふれあいいきいきサロンの充実・継続に向けた支援を行っている。</p>

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>域で活動する人達を育てる機能づくりを、市と社会福祉協議会で連携し推進していただきたい。</p> <p>【牧之原市社会福祉協議会】</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染リスクを抱えながら、利用者のため献身的に業務にご尽力しておられ、あらためて感謝と敬意を表す。</p> <p>今後、感染症の第二次、第三次の波が押し寄せ当市に感染者が出ることも十分考えられることから、施設利用者や職員に対する更なる感染防止対策と発生した場合のメンタルヘルスケア体制にもご配慮されたい。</p> <p>(2) 他市社会福祉協議会で不祥事が発生していることから、特に現金の取扱いについては厳格な管理が必要であると考える。些細なところから不正に繋がることになり兼ねないため、今後も引き続き、適正な管理をお願いする。</p>	<p>サロンサロンでは、新たな活動や市内サロンの活動の事例紹介などを行っている。</p> <p>サロンステップアップ研修では、保健師や理学療法士などの専門職から“サロンの効果”や“重要性”を伝えていただき、協力員の充実感や意識高揚に繋げている。</p> <p>また、らいふサポーター養成講座など新たな協力員の掘り起こしも図っている。</p> <p>【牧之原市社会福祉協議会】</p> <p>(1) 毎月1回、所属長会議にて社協としての予防対策を協議している。毎日が気を抜けない状況だが、職員全員で協力し合い対応している。感染の怖さから一時期休んでいた職員も出勤し始めた。今後も、職員に声掛けながら事業を継続していきたい。</p> <p>(2) 事務局長決裁及び金庫管理などを引き続き徹底し、不正が起こらない管理体制を行っていく。また、今後も福祉団体に対して事務的な支援は行っても、会計処理や通帳管理は、社協では行わないことで統一していく。</p>